

令和5年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日)

概 要	名 称	一般財団法人宮崎県水産振興協会		所在地	延岡市熊野江町2453番地11		
	電話番号	0982-43-0411		ホームページ	https://mivasuisan.stars.ne.jp		
	設立年月日	平成4年4月1日	代表者	理事長 岩田 末幸	県所管部・課	農政水産部 水産局水産政策課	
	総出資額	92,446 千円		県出資額	46,223 千円	県出資比率	50.0%
	設立目的	栽培漁業の推進及び養殖業の振興により、海面における本県水産業の発展を図り、もって県民生活の向上に寄与することを目的とする。					
特記事項	沿岸漁場整備開発法第15条による指定法人。						

内容		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
改革工程	①公社等のあり方見直し	(計画) ①一般財団法人としての適切な運営(公益目的支出計画の実施)を行う。 ②継続事業である放流事業は、県資源管理指針及び栽培基本計画に対応して推進する。 (実績) ①計画通り放流事業等の継続事業を実施した。 ②県資源管理指針及び栽培基本計画に応じた魚種、尾数及びサイズでの放流を行った。	(計画) ①一般財団法人としての適切な運営(公益目的支出計画の実施)を行う。 ②継続事業である放流事業は、県資源管理指針及び栽培基本計画に対応して推進する。 (実績) ①概ね計画通り放流事業等の継続事業を実施したが、一部の放流事業において、魚病の発生による生産不調のため、放流用種苗が確保できず放流できないものもあった。 ②県資源管理指針及び栽培基本計画に応じた魚種、尾数及びサイズでの放流を行った。	(計画) ①一般財団法人としての適切な運営(公益目的支出計画の実施)を行う。 ②継続事業である放流事業は、県資源管理指針及び栽培基本計画に対応して推進する。	
	経営・事業運営改善	経営(改善)計画の実践 施設機能の維持・向上	(計画) ①中期経営計画に基づく事業運営を実践する。 ②種苗の安定供給を図るため、施設の計画的な維持補修を行う。 (実績) 令和3年度においては、貸倒損失等の処理のために赤字決算となった。 ②計画通り、着水槽内配管工事及び魚類飼育槽安全柵設置工事を実施した。	(計画) ①中期経営計画に基づく事業運営を実践する。 ②種苗の安定供給を図るため、施設の計画的な維持補修を行う。 (実績) 令和4年度においては、公益事業収益及び収益事業収益の減少や台風14号により被災した施設の修繕等による経費の増大のために赤字決算となった。 ②計画通り、急速ろ過機1号機の更新工事を実施した。	(計画) ①中期経営計画に基づく事業運営を実践する。 ②種苗の安定供給を図るため、施設の計画的な維持補修を行う。
	財務改善	種苗生産経費等の支出削減 養殖用種苗販売等の収入増加	(計画) 中期経営計画に基づき、財務基盤の安定化を目指す。 (実績) 中期経営計画を実践し、収入は昨年度に引き続き増加した。	(計画) 中期経営計画に基づき、財務基盤の安定化を目指す。 (実績) 新たな中期経営計画を策定し、令和4年度から実践を開始したが、魚病の発生に伴う生産不調により収入が減少し、台風14号により被災した施設の修繕等により経費が増加した。	(計画) 中期経営計画に基づき、財務基盤の安定化を目指す。
	組織等適正化	生産体制の検討 職員のスキルアップ	(計画) 新たな種苗生産技術や防疫対策技術等の習得により職員のスキルアップを行う。 (実績) 超早期ブリの人工種苗生産技術開発を実施し、関係機関と連携し情報収集を行った。	(計画) 新たな種苗生産技術や防疫対策技術等の習得により職員のスキルアップを行う。 (実績) 超早期ブリの人工種苗生産技術開発を実施し、関係機関と連携し情報収集を行った。	(計画) 新たな種苗生産技術や防疫対策技術等の習得により職員のスキルアップを行う。
③県と公社等の関係見直し	人的支援見直し	県派遣職員の配置検討 県職員の役員就任の見直し	(計画) なし。 (実績) なし。	(計画) なし。 (実績) なし。	(計画) なし。
	財政支出見直し	補助事業の見直し 委託事業の見直し	(計画) 県の効率的な財政支援を行う。 (実績) 補助事業2事業が終了し、新たに1事業を開始したことで、総事業費は減少した。	(計画) 県の効率的な財政支援を行う。 (実績) 補助事業について、新たに1事業を開始したことで、県からの補助金額は増加した。	(計画) 県の効率的な財政支援を行う。

④情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	(計画) ホームページでの情報公開を行い、随時情報を更新する。 (実績) 定期的にブログ更新を行い、情報公開を実施したものの、ホームページのアクセス数は減少した。	(計画) ホームページでの情報公開を行い、随時情報を更新する。 (実績) 定期的にブログ更新を行い、情報公開を実施しており、昨年度に比べてホームページのアクセス数が増加した。	(計画) ホームページでの情報公開を行い、随時情報を更新する。
---------	-----------------	--	--	------------------------------------

	(人)	令和4年度			令和5年度				
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	11	2	1	8	11	2	1	8
	常勤	2	1	1	0	2	1	1	0
	非常勤	9	1	0	8	9	1	0	8
	職員数	8	2	0	6	8	2	0	6
財政支出等	(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	県委託料	3,691	7,738	8,238	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	33,891	24,655	24,631	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	15,068	15,045	15,275	
その他の県からの支援等									

事業名	事業内容	令和4年度	令和5年度	種別
		決算額(千円)	予算額(千円)	
① みやざきの豊かな海づくり推進事業	県から運営費に対し補助を受け、組織強化と経営の安定化を図り、栽培漁業を円滑に推進する。	13,360	13,360	補助金
② 資源管理イオベーション推進事業	種苗放流事業に対し補助を受け、ヒラメの特徴的資源造成を行うことで、漁業生産量の増大を図る。	6,135	6,135	補助金
③ 新たな養殖生産創出支援事業	県から補助を受け、夏季生産の超早期ブリの人工種苗供給体制を構築する。	5,136	5,136	補助金
④ 海産系アユを親とする人工種苗生産事業	天然に近い形質を持ったアユの種苗放流の有効性の確認を行うため、海産系アユを親とする人工種苗生産について受託する。	3,000	3,000	委託料
⑤ みやざきモデル資源管理の高度化事業 アマダイ類種苗生産技術開発	県策定のアマダイ類資源回復計画に定められた資源の積極的培養を推進するため、アマダイ類種苗生産技術開発について受託する。	1,800	1,800	委託料

実施事業	①ヒラメ等の放流種苗供給 ②アマダイ類の種苗生産技術開発 ③マダイ、シマアジ、カンパチ等の養殖種苗供給 ④天然ブリ稚魚需給調整、人工種苗動向把握等 ⑤養殖場の区画毎の生け簀数・飼育尾数等の調査 ⑥放流時の立会指導、漁場改善計画の実践指導、県民に対する栽培漁業の普及啓発等
------	--

活動指標	指標名	算式(単位)	令和4年度			令和5年度	令和6年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	放流用種苗生産尾数(ヒラメ)	(千尾)	340	323	95.0%	340	—
②	放流魚混獲状況(ヒラメ)	放流ヒラメ漁獲量/県内ヒラメ漁獲量×100(%)	14	17	128.1%	14	—
③	栽培漁業に関する普及啓発	見学者数等+ホームページアクセス件数(人)	3,450	3,747	108.6%	3,450	—

指標の設定に関する留意事項 ※令和5年度の目標値については、年度当初設定した数値を記載しているが、現状を踏まえて、年度中に見直しを行う予定。

	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
経常収益	214,623	202,618	177,909	資産	337,044	324,198	297,250
経常費用	205,673	205,330	224,463	流動資産	293,218	278,617	270,479
当期経常増減額	8,950	-2,712	-46,555	固定資産	43,826	45,582	26,771
経常外収益	0	221	17,776	負債	65,794	58,225	60,136
経常外費用	0	0	0	流動負債	28,359	18,061	36,536
当期経常外増減額	0	221	17,776	固定負債	37,436	40,164	23,600
税引前当期一般正味財産増減額	8,950	-2,491	-28,779	正味財産	271,250	265,974	237,114
法人税・住民税及び事業税	5,961	2,785	81	指定正味財産	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,989	-5,276	-28,860	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
一般正味財産期首残高	268,261	271,250	265,974	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
一般正味財産期末残高	271,250	265,974	237,114	一般正味財産	271,250	265,974	237,114
当期指定正味財産増減額	0	0	0	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0				
正味財産期末残高	271,250	265,974	237,114				

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

指標名	算式(単位)	令和4年度			令和5年度	令和6年度
		目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値
① 1人当たりの自主財源収入金額 ※ 令和4年度 実績値の算式	自主事業収益/事務局職員数(千円) 113,500千円/8人	7,904.0	14,187.5	179.5%	7,904.0	—
② 収支比率 ※ 令和4年度 実績値の算式	当期収入合計/当期支出合計×100(%) 177,909千円/224,463千円×100	103.6	79.3	76.5%	103.6	—
③ 主な収益事業魚種の販売収入 ※ 令和4年度 実績値の算式	(千円) 養殖用マダイ 28,092千円+養殖用シマアジ 55,913千円	88,361.0	84,005.0	95.1%	88,361.0	—
指標の設定に関する留意事項	※令和5年度の目標値については、年度当初設定した数値を記載しているが、現状を踏まえて、年度中に見直しを行う予定。					

直近の県監査の状況	
-----------	--

総合評価	<p>公社等自己評価</p> <p>当会は老朽化が著しい施設を維持補修しながら、ヒラメ、カサゴ放流による日向灘沿岸資源の維持・回復及び養殖用種苗の供給による養殖振興等に貢献している。 令和4年度については、予期せぬ魚病の発生や台風14号による施設被害により赤字決算となったが、現在職員一丸となり、防疫体制強化による魚病の封じ込めや経費節減などに取り組み、早期の経営改善を目指しているところである。</p>	<p>県所管部課二次評価</p> <p>令和4年度は魚病が発生し種苗生産の不調による収入減に加え、台風で被災した施設等の修繕に伴う経費増により、赤字決算となった。 令和5年度も既に魚病が発生しており、収入が計画を下回る見込みであるが、疾病対策をより一層徹底するとともに、中期経営計画に基づいた取組を推進し確実に収益確保を図ることで、令和6年度以降への経営の安定化に繋がるものと考えられる。</p>
	<p>評価 (A.良好、B.ほぼ良好、C.やや課題あり、D.課題多い)</p> <p>改革工程 A 活動内容 A 財務内容 B 組織運営 A</p>	<p>評価 (A.良好、B.ほぼ良好、C.やや課題あり、D.課題多い)</p> <p>改革工程 A 活動内容 A 財務内容 B 組織運営 A</p>
	<p>目標達成度</p>	<p>公社等改革推進委員会三次評価</p> <p>活動内容について、一部目標を下回る指標があるものの、種苗の生産・供給について一定の成果が出ていることは評価できる。 財務内容については、魚病や台風等自然災害の影響による影響を大きく受け、一般正味財産が減少している。 引き続き、中期経営計画の実現に向けて、疾病対策を徹底し、漁業者のニーズに対応した魚種の生産・販売促進等に取り組み、経営の安定を図っていく必要がある。</p>